

2018年 2月28日 (水)

## 「東京の未来の姿」特設展示

2月27日(火)から3月4日(日)まで、都政ギャラリーで絵画作品展『「東京の未来の姿」特設展示』が行われています。

東京の小中学校の子どもたちの作品が集まり、子どもたちが思い描く「こんな町に住みたい」、「こんなものがあたらいいな」といった東京の未来の姿に期待する夢を、絵画で表現しています。武蔵野東小学校の作品は、図工の授業で描いた絵の中から、代表8名が選ばれ、共同制作として出品されました。タイトルは「夢・Tokyo・未来」です。「免許がなくても乗れる自動運転の乗り物。ロボットが町を整備する。都市開発が進み人々は空中都市をつくる。自然と共存した緑豊かな生活…」など夢のある東京の未来を願い、描いた姿です。

本日、私立小学校の代表として、武蔵野東小学校の出品した児童が都庁まで観覧に行きました。小池都知事も見学にお見えになり、代表の6年生が作品の紹介を行いました。子どもたちは緊張した様子でしたが、作品の質問にしっかりと答えることができました。「みんなこんな町をつくりたいね。」と仰っていたのが印象的でした。最後は、記念撮影をするなど、子どもたちにとって貴重な経験になりました。

